

会 議 録

1 会議名

令和4年度第3回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

令和4年度地域活動支援事業について（公開）

【報告事項】

地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について（公開）

3 開催日時

令和4年6月3日（金）午後6時30分から午後7時34分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、今川芳夫、河野健一、
坂井芳美、田中 実、田村雅春、古澤悦雄、増田和昭、水澤敏夫
（欠席者6名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山副会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：今川委員、河野委員に依頼

議題【協議事項】令和4年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

1点報告がある。提案No.2の「直江津地区ひとり親家族緊急支援事業」の提案者より取下げの届出があった。理由としては、今回提案した30世帯への定期的な支援についてはフードバンクじょうえつから一体的に対応いただくのが効率的だと判断したためと今後もボランティア活動として不定期でできる範囲で活動していくということで取り下げることであり、採点は不要となった。

先回の会議で協議していただいた提案団体への質問事項と、委員からの個別質問をまとめ提案団体へ送付した。その回答をまとめたものを事前に送付している。本日は、回答を踏まえて各委員の採点及び次回会議での採択審査に向けた協議をお願いしたい。

【青山副会長】

それでは、提案No.1から順番に協議していきたいと思う。

「No.1 クリーンナップ上越in五智事業」についてどうか。

(質疑なし)

【増田委員】

提案No.2だが、取り下げて不定期の開催と言っているが、昨年かなり備品を購入している。備品を買って不定期ということは、年に1回、2回かもしれない。備品をフードバンクじょうえつに引き継ぐというのであればわかるが、おひさまパントリーがその備品を持っていてどうするのか。非常に割り切れないものを感じる。フードバンクじょうえつの下で活動するような感じだが、では、おひさまパントリーとしては独自に活動するつもりはないのか。その辺が全く不透明なので、事務局としてどのように対処するのか聞きたい。

【中村センター長】

5月30日付けで届出があったが、不定期というところは、まだ方針が決まっていないとのことである。頻度が低いようであれば、フードバンクじょうえつへの寄贈もしくは貸し出しを念頭に置きながら、提案団体に話して対応を求めていきたいと思う。

【田村委員】

取り下げたということだが、活動自体はよいことだと思うが、なぜ直江津なのかどうしてもわからない。本来であれば、行政が末端まで支援していかなければいけない仕事だと思う。

【青山副会長】

次に「No.3 五智公園の整備、有効活用支援事業」についてどうか。

【古澤委員】

今回、ベンチを作ると書かれているが、直江津区地域活動支援事業という表示をしていただきたいと思う。どこからお金が出ているかわからないので採択された際は、「直江津区地域活動支援事業から作成されたものだ」という文言を付けていただきたい。

【青山副会長】

次に「No.4 上越市「地域の宝」北前船がはこんだものガイドマップ改訂事業」についてどうか。

(質疑なし)

次に「No.5 直江津区 若者活性化事業」についてどうか。

【増田委員】

提案書には、いろいろなことで上越の将来を考える、若者を増やすと書いてあるが、今まで実施していることは、一部の人が集まってのお楽しみ会に見える。クリスマスパーティー、スポーツ交流会を実施したとあるがほとんど1回である。一部の人たちのお楽しみ会でよいのかと疑問を感じる。また、「ソーシャルビジネスを進めていく」として記載されている回答が、今後開催する予定のイベントがほとんどであり、これもどのように判断したらよいのか迷っている。

【青山副会長】

次に「No.6 マタニティー&子育て家族フェス事業」についてどうか。

【田村委員】

催し自体は、今の子育て支援を考えればよいと思う。ただ、問題はなぜ直江津区なのかがわからない。他の区でも地域活動支援事業で提案したのか、その辺が全く書かれていない。

【青山副会長】

次に「No.7 「直江津写真フェア」事業」についてどうか。

(質疑なし)

次に「No.8 (仮称) なおえつうみまちアート2022事業」についてどうか。

(質疑なし)

次に「No.9 えちご・くびき野100kmマラソン 直江津おもてなしプロジェクト2

022事業」についてどうか。

(質疑なし)

次に「No.10 天王川クリーンナップ大作戦事業」についてどうか。

(質疑なし)

次に「No.11 直江津水族館ロード(仮称)アート修景整備事業」についてどうか。

【田村委員】

橋にペンキを塗って腐食予防すると思う。そうすると、個人の資産の価値を上げるのではないか。こういったものに公的資金を使ってもよいのか。

【中村センター長】

考え方によっては、資産価値を上げることになるかと思う。ただ、高田区の雁木通りでサッシに格子を付けたり、上越総合技術高校の生徒が柱に防腐剤を塗ったり、長寿命化を図る事業を実施している。まちづくりの一環ということで、逆に素材を提供していただくという観点もあり、高田区では、まちづくりの観点から認めている。

【青山副会長】

次に「No.12 交流と賑わいによる「みなとまちづくり」プロジェクト事業」についてどうか。

(質疑なし)

次に「No.13 福永十三郎顕彰・四十物祭事業」についてどうか。

【古澤委員】

三八朝市の日を実施すると決まっているが、そこで、市、直江津三八市場振興会、上越朝市組合と事前に協議しながら行うのは非常に良いと思う。また、三八朝市周辺まちづくり協議会も三八朝市に尽力されているし、地元町内会にも話を通しておかないともう少し賑わいに欠けるかと思う。やるからには全体的に声をかけていただければと思っている。実施する際には関係団体との連携を深めてもらいたい。

【青山副会長】

次に「No.14 「新潟県鉄道発祥の地・直江津」の魅力発信事業」についてどうか。

【田村委員】

2月に市長と懇談した際に、この話題が出た。公約の中に鉄道博物館を作りたいということがあり、令和4年度にどういった方向で進めていくか検討しているそうである。私は、動輪を鉄道博物館に寄贈して、そこで公的資金を使っただけであれば良いのでは

ないかと思っている。この部分だけ取り下げることができないのかという提案をしたいと思う。

【増田委員】

提案している中で、この項目は認めないということはできる。その場合に採択する判断をしておいて、ただし、この項目は認めないという方法になると思う。不採択になると、他の良いものも全部落ちてしまうので、その辺を考えていただければと思う。採択にして、移設工事だけ認めないとすることは可能である。

【古澤委員】

移設工事費の分を他の事業費に充てて、賑やかなものにするにはできるのか。

【中村センター長】

事務局としては、提案書の（８）事業の収支計画の支出の部分で、例えば、動輪の移設は地域協議会として認められないということになれば、それらに関係する金額は不要になるということで減額することは可能かと思う。増田委員が言われたように、採択したうえで、この事業費は認められないという方法は可能かと思う。古澤委員が言われた、その分講演会や物産市をグレードアップすることは、すでに提案が出ているので不可能である。

【増田委員】

昨年も同じようなことで問題にした。動輪移設工事費は、昨年と全く同額である。内容も全く同じである。私たちは昨年の計画からここの部分は補強したという提案内容であれば、それは考えましょうという申し合わせをしているが、まったく同じ内容でまたここに提案してくるということは、提案団体に工夫がないのではないかと思われる。逆に地域協議会として認めることは、地域協議会は昨年とリンクしないではないかと言われるかねないと思う。そういった背景があることを申し上げる。

【田中美佳副会長】

今のお話で、その場合、特記事項として書いて出せばよいのか。

【小川係長】

そうである。点数は採択の点数にして、特記事項で「ただし、この部分は減額する」と記載していただきたい。

【青山副会長】

以上で協議を終了とする。

採点票の記入について事務局へ説明を求める。

【小川係長】

・採点票の記入方法、提出期限等について説明

【青山副会長】

説明に対し質疑を求める。

【田村委員】

確認だが、すべての案件に「適合する」にチェックを入れてよいのか。

【小川係長】

直江津区の採択方針に適合するかどうかを判断していただきたい。

【田村委員】

これは、個人が判断するのか。今までは、事務局をとったものは全て適合すると解釈していたのだが、それは違うのか。

【小川係長】

委員の判断で、適合するかどうかチェックしていただきたい。

【田村委員】

承知した。

【古澤委員】

要望だが、提案の中でポスターを作成するイベントがあるが、各町内会にはポスターの掲示板がある。町内の掲示板は人の目につくところがあるので、宣伝効果のために各団体から届いたら、各町内分をいただければ、私のほうで希望する町内に配布したいと思っているのでお願いしたい。

【田村委員】

直江津に新聞折り込みする場合、新聞店は国道8号から直江津側は直江津担当で、高田側は高田担当である。同じ直江津区でも折り込みが入らない地域もあるので、チラシを入れる際には、該当する地域すべてに入るよう配慮するよう、提案者に伝えてほしい。

【中村センター長】

承知した。

【青山副会長】

他に質疑を求めるがなく、終了とする。

次に【報告事項】地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等に

ついて、事務局へ説明を求める。

【中村センター長】

前回の説明の続きで、資料2以降について説明させていただく。

- ・「地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について」に基づき説明

【青山副会長】

今回、欠席者が多いので、次回、再度説明をお願いしたい。

説明に対し質疑を求める。

【増田委員】

地域活性化の事業と地域活性化の方向性と元気事業の兼ね合いをどうするか、これでは見えてこない。並行して進むようなイメージになるが、地域協議会で並行して進むのは、ほとんど無理なのでどのように組み合わせていったらよいかは課題である。

「地域活性化の方向性を作成して下さい」と言っているが、地域活性化とは何かの説明がない。何をもちて地域活性化とするのか、何のために地域活性化をしないとイケないか、その基本が全くなくて、単に地域活性化の方向性を書いて下さいと言っているので、私たちは何を考えたらよいか分からない。依頼元に詳しく聞いてほしい。

【中村センター長】

どういう形が地域活性化かは、地域によって受け止め方も違うと思う。また、そこにたどり着く道のりもいろいろであり、全国各地で手探りで進めているし、いくつか成功例がニュース等で紹介されているが、これが正解というものはなかなかないと思う。質問の旨を伝えながら、上越市にあった回答があれば伝えさせていただきたいと思う。

【青山副会長】

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

- ・次回協議会：6月10日（金）午後6時30分から

【青山副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。